

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり8.97人とやや増加し、注意報レベル(定点当たり10.0人)に近づいています。

今後もさらに増加する可能性があり、注意が必要です。

2. RSウイルス感染症

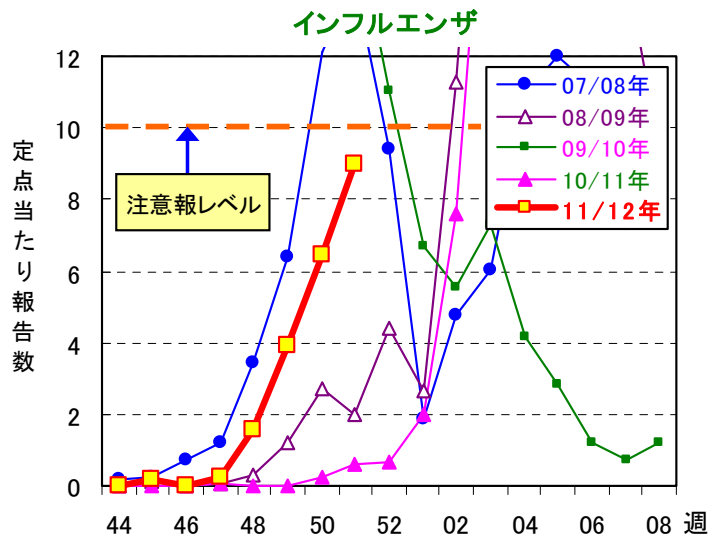
定点当たり2.13人と多い状態が続いています。最も流行する時期であり注意が必要です(次頁参照)。

3. 感染性胃腸炎

定点当たり8.92人とやや増加しています。

例年冬季は、ウイルス性の感染性胃腸炎が多く報告され、特にノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が多くなりますので注意が必要です。

年末年始は、帰省や初詣などで混雑する場所へ出かけることが多くなりますので、体調管理に注意するとともに、手洗いなどの感染症予防対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 5年 (注)	発生 記号	疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 5年 (注)	発生 記号
インフルエンザ	332	8.97	6.59	↗	ヘルパンギーナ	-	-	-	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.50		流行性耳下腺炎	3	0.13	0.51	
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	26	1.08	1.38	↓	RSウイルス 感染症	51	2.13	1.60	↗
感染性胃腸炎	214	8.92	17.06	↗	急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	62	2.58	2.30	↗	流行性角結膜炎	-	-	0.48	
手足口病	1	0.04	0.18		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.13	↓	無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	8	0.33	0.59		マイコプラズマ 肺炎	7	1.00	0.40	
百日咳	2	0.08	0.15		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1	0.14	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	246	男性(30歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
5	ウイルス性肝炎	1	9	男性(40歳代)・B型

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第47週	10	2	29	102	31	12	5	17	6	－	2	18	－	9	－	－	2	－
		第48週	57	4	28	160	53	3	10	6	7	1	6	38	1	8	－	－	6	－
		第49週	145	5	43	167	49	12	11	10	5	－	6	30	－	7	－	－	11	－
		第50週	239	4	54	183	58	6	16	14	10	－	5	47	－	4	－	－	8	－
		第51週	332	2	26	214	62	1	3	8	2	－	3	51	－	－	－	－	7	1
定点当り	広島市	第47週	0.27	0.08	1.21	4.25	1.29	0.50	0.21	0.71	0.25	－	0.08	0.75	－	1.29	－	－	0.29	－
		第48週	1.54	0.17	1.17	6.67	2.21	0.13	0.42	0.25	0.29	0.04	0.25	1.58	0.14	1.14	－	－	0.86	－
		第49週	3.92	0.21	1.79	6.96	2.04	0.50	0.46	0.42	0.21	－	0.25	1.25	－	0.88	－	－	1.57	－
		第50週	6.46	0.17	2.25	7.63	2.42	0.25	0.67	0.58	0.42	－	0.21	1.96	－	0.50	－	－	1.14	－
		第51週	8.97	0.08	1.08	8.92	2.58	0.04	0.13	0.33	0.08	－	0.13	2.13	－	－	－	－	1.00	0.14
全国	全国	第49週	1.11	0.39	2.24	8.95	2.19	0.76	0.25	0.56	0.02	0.06	0.69	1.06	0.03	0.59	0.05	0.04	1.51	0.05
		第50週	1.98	0.50	2.53	11.66	2.70	0.72	0.28	0.56	0.03	0.05	0.78	1.18	0.03	0.67	0.03	0.05	1.30	0.03

■新たに判明した病原体検出状況

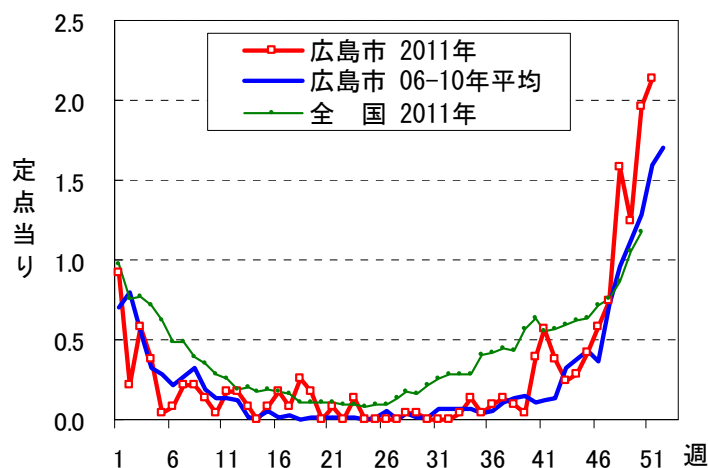
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ 発熱(39.0)	上気道炎 中耳炎	1	男	2011/11/17	咽頭拭い液	RSウイルス
インフルエンザ 発熱(38.5)	上気道炎	7	女	2011/12/12	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	5	女	2011/12/12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ 発熱(39.2)		23	女	2011/12/15	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	5	男	2011/11/11	糞便	サボウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐	5	女	2011/11/13	糞便	サボウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	0	男	2011/11/16	糞便	エコーウイルス7型
その他の疾患	発熱(39.5) 紅斑 下痢	0	男	2011/11/13	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の発生動向

RSウイルス感染症 2011年 第51週現在



RSウイルス感染症は、RSウイルスによっておきる「かぜ」の一つで、発熱、鼻水、せきなど鼻かぜのような症状を引き起こします。

大人では軽い症状ですむことが多いのに対して、年齢が低いほど重症化しやすく肺炎や気管支炎を引き起こすことがあるため、乳幼児は早めに医療機関を受診することをお勧めします。

なお、市内の基幹病院2か所(小児科定点ではない)による迅速診断キット検査結果でも、RSウイルスが32人報告されており、増加傾向で推移しています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第51週(12月19日～12月25日)